News letter

2026年7月
Vol.1

一般社団法人 日本作業療法士協会
地域社会振興部 地域事業支援課 地域包括ケア推進班主催

2026年度 第1回地域事業支援会議

群馬県士会版

2026年7月10日、日本作業療法士協会は「第1回 地域事業支援会議」を開催し、各都道府県士会の選任者および聴講者等あわせて160名を超える皆さまにご参加いただきました。本会議では、5歳児健診や学校領域における作業療法士の活動可能性の広がり、人材育成の取り組みなどについて、情報共有やアイデア交換を行う貴重な機会となりました。

5歳児健診・学校領域でのOT参画に向けた仕組みづくりが進展 （地域社会振興部からの報告）



今年度の重点事業として、5歳児健診や学校領域における作業療法士（OT）の参画を推進するための仕組みづくりが紹介されました。各士会の市町村担当者（作業療法士）の配置率は約80%に達しており、これまで高齢者分野で積み上げてきた体制を、発達・教育領域にも広げていくモデル事業を大阪府士会・奈良県士会で進めていく予定です。

各事業のトピックス

短期集中型サービス参加促進事業

『短期集中予防サービス実践事例集Vol.2』の作成に向け全国から8つのカテゴリー（日常生活動作、家事、趣味、移動、就労、社会資源、口腔栄養）事例を募集中！

Vol.1はこちら



市町村担当者配置事業

R7.9時点で配置率は **78.1%**。今年度の目標である **80%** に向けて、制度面でも追い風が吹いている今、士会との連携を進めて達成を目指しましょう！

地域OT育成ワーキング

地域で活躍できるOTを育てるための新研修制度。研修は「わかる」「できる」「広げる」の3段階構成で、基礎と応用の二層構造に。下半期後半から運用予定。参加しやすい仕組みづくりも進行中！

士会マネジメント事業

3年をかけ作成してきた『士会マネジメントQ&A』が完成しました。地域支援事業に参画する具体案や、全国の士会から集めた実例・資料が整理されてるのできっと活動のヒントになるはずです！

Ver.1.2はこちら



グループワークでは 「*ブロック機能の発展」をテーマに、グループで意見交換を行いました。

若手育成の工夫、研修の共同開催、日常的な情報交換の仕組みづくり、学会での地域包括ケア枠の設置など、さまざまなアイデアが出されました。*ブロック機能：全国47都道府県を6つの圏域に分け互助機能（相談、情報交換）を構築。

全国の士会に共通する課題として、人材育成や担い手不足、研修参加者の固定化、地域活動への参画の難しさが挙げられた。その解決策として、ブロック単位での合同研修や他県との講師・人材交流、研修情報や事例を共有する仕組みづくり、OJTや伴走支援の充実、若手が参加しやすい段階的な育成体制の整備など、ブロック機能を協働型プラットフォームへ発展させる提案が多く示された。

編集後記

各都道府県で組織規模や地域事情は異なるものの、人材育成や地域活動への参画促進などの課題は共通していることが印象的でした。士会単独で課題を解決しようとするのではなく、ブロック内で研修や人材、情報を共有し、互いの強みを生かしながら支え合う体制づくりが重要であると感じました。群馬県士会としても、他県との連携を積極的に進める必要性を改めて認識しました。

群馬県士会　担当：高坂